

2016年8月17日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「セキュリティ関連日本株ファンド」＜愛称:セキュリティ・ジャパン＞を設定

～拡大・多様化する「安全」へのニーズに着目、三井住友信託銀行が8月17日募集開始～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、セキュリティ関連の日本企業の株式を主な投資対象とした追加型投信「セキュリティ関連日本株ファンド」＜愛称:セキュリティ・ジャパン＞を8月24日に設定、運用を開始する予定です。三井住友信託銀行株式会社が8月17日から募集を行いません。

「セキュリティ関連日本株ファンド」＜愛称:セキュリティ・ジャパン＞は、拡大・多様化する「安全」へのニーズに着目し、安全な生活を支える、「からだの安全」、「家の安全」、「社会の安全」に関するセキュリティ事業を手掛ける日本企業の株式に投資します。運用は、三井住友信託銀行の投資助言をもとに、日興アセットが行いません。

からだの安全

医療・健康や食の安全、生活環境の安全に関連する産業を投資対象とします。

＜代表的なテーマの例＞

医療・健康

医薬品や医療機器、検査機器、手術用具などの製造・販売、病気の予防、生活習慣の改善支援

食の安全

食品の安全を守るための検査や監視事業、食生活の安全に絡む浄水やごみ処理

見守り

子育てに係る保育事業や医療支援、介護用品や介護施設に係る事業、見守り用の各種センサーやシステム

家の安全

家庭内における安全を提供する防犯・警備サービスやバリアフリー対応、家や財産の保全・承継に関連する産業を投資対象とします。

＜代表的なテーマの例＞

防犯・警備

戸建住居やマンションにおける緊急・定時の巡回警備、各種センサーや監視カメラ、小型無線機など機械を用いた簡易型警備

バリアフリー

住居などにおける段差の解消や昇降機などの整備・補修

財産保全・承継

家や財産に対する保険や、財産承継、不動産賃貸の管理運営

社会の安全

社会の必需品であるインターネットのネットワーク管理や情報セキュリティ産業、ロボティクス事業に代表される技術革新、生活インフラの支援に関連する産業を投資対象とします。

＜代表的なテーマの例＞

ネットワーク管理

ハードウェア保守やソフトウェア開発などのサーバー運営、SNS、クラウド、セキュリティなどのサービス提供

技術革新

IoT(モノのインターネット化)やAIの活用をはじめとするロボティクス事業、自動運転者の開発

生活インフラ

単身世帯や高齢世帯向けの食事の販売や宅配、惣菜などの昼食や外食、飲食店運営

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以上

■手数料等の概要

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時手数料率は、3.24% (税抜 3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬： 純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額とします。
1,000 億円以下の部分…… 年率 1.674% (税抜 1.55%)
1,000 億円超の部分……… 年率 1.458% (税抜 1.35%)
- その他費用： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に 0.54(税抜 0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「セキュリティ関連日本株ファンド(愛称:セキュリティ・ジャパン)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 11 カ国に擁し、200 名を超える運用プロフェッショナルが約 17.4 兆円**の資産を運用しています。55 年を超える実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。

(上記データはすべて 2016 年 3 月末現在)

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2016 年 3 月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会